



すてい~る

目次

●特集 平成25年「新年賀詞交換会」

●平成25年「新年賀詞交換会」開催	1
●各支部でも新年賀詞交換会	5
●被災地と被災企業の今	7
●理事会・委員会報告	9
●事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

(社)全日本特殊鋼流通協会 平成25年「新年賀詞交換会」開催



復興需要・公共投資・円安による上振れに期待 変化の年・巳年をステップアップして活躍の年に

全特協では平成25年1月22日(火)、東京・市ヶ谷の「グランドヒル市ヶ谷・瑠璃の間」において、平成25年の『新年賀詞交換会』を開催しました。

例年同様、約450名の参加者を得て始まった賀詞交換会の冒頭で、竹内誠二会長(竹内ハガネ商行・代表取締役社長)は「一般社団法人への移行手続はすべて終わり、4月からは新しいスタートが切れそうです」と報告。教育研修事業のさらなる充実化や海外研修の実施検討など本年事業の抱負を述べた後、「変化のある年といわれる巳年を、ステップアップの年ととらえて活躍されることを祈念します」とあいさつしました。

続いて、ご来賓代表の山下隆一・経済産業省製造産業局鉄鋼課長は、年頭の祝辞とともに新政権で決まった緊急経済対策について説明。「経済再生会議の下にある産業競争力会議で議論を進め、夏前には成長戦略を打ち出して

いく。その過程で産業界の意見を広く反映したい。ここにお集まりの皆様からも、さまざまなご意見をいただきたい」などと、国家戦略づくりへの協力を呼びかけられました。

武田安夫・山陽特殊製鋼代表取締役社長のご発声で乾杯した後は、全国より参集した正会員・賛助会員が、この厳しい経営環境を乗り切っていくために製販一体という大きな絆を確認。活気あふれる懇談の後は、湊義明・東京支部長(野村鋼機・代表取締役)の三本締めで盛会のうちに散会となりました。



全特協会長 年頭のあいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 会長 竹内誠二

4月から一般社団法人として新たな新スタート 教育研修事業の充実と海外研修の実施を検討



皆様、新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、全国から昨年同様450名を超える大勢の方々にご出席いただきありがとうございます。また、公務ご多忙のところ、ご来賓として経済産業省製造産業局鉄鋼課課長山下隆一様、山陽特殊製鋼株式会社代表取締役社長武田安夫様をはじめ、多数の方のご臨席

を賜り厚く御礼申し上げます。日ごろは、全特協の事業にご理解、ご協力、ご支援を賜り、高い席からですが重ねて御礼申し上げます。

昨年は世界の多くの主要国でトップリーダーが交替しました。その結果、今年は世界情勢に大きな動きがあるか注目したいと思います。本年の景況見通しですが、ギリシャ発の欧州の金融危機は、欧州中央銀行による高債務負債国の国債が、無制限の買い支え政策によりひとまず沈静化してきています。また、米国では財政の崖が懸念されますが、住宅市場の底入れの動きが見られ、雇用の改善や株高で個人消費がプラスに転じ、更に、第3のエネルギー革命といわれている石炭、石油に次ぐ、画期的なエネルギーのシェールガス開発が期待され、景気が回復気運に向かっています。中国では経済政策のスタンスが緊縮財政から緩和政策になり、再び経済成長が見られそうです。

わが国では、安倍政権が誕生してアベノミクスの大胆な金融緩和、機動的

な財政出動、民間投資を喚起する成長戦略を「三本の矢」とする経済政策で、すでに円安、株高の効果が現れ、失われた日本経済の20年のデフレからの脱却に大いに期待したいと思います。

その様な環境下で昨年の粗鋼生産は約1億700万トンになりそうです。特殊鋼の生産は2000万トン弱とうかがっております。今年の粗鋼生産は微減の見通しですが、復興需要・公共投資拡大や円安等で上振れもあります。特殊鋼の生産は、微増で久しぶりに2000万トンを超える見通しです。今年は期待して良いと思います。

当協会では一般社団法人への移行手続きはすべて終わりました。後は内閣府からの認可待ちの状況です。今年の4月1日から一般社団法人全日本特殊鋼流通協会がスタートが切れそうです。また、教育研修事業もさらなる充実を図りたいと思います。ご好評をいただいております海外研修ですが、本年も実施するべく担当委員会で検討をしています。

今年は十二支の干支では巳年になります。一般的に、蛇は脱皮を重ねていき、大きく成長してたくましくなっていきます。なぜか、過去の巳年は大きな事件や大きな変化のある年です。詳細は判りませんが、早速、北アフリカのアルジェリアで不幸な出来事が起きております。今年は、皆様方がこの変化の年をステップアップの年ととらえ活躍され、さらに良い年になりますようご祈念申し上げます、私の新年のあいさつとさせていただきます。



(社)全日本特殊鋼流通協会 新年賀詞交換会

平成25年1月22日(火) グランドヒル市ヶ谷

ご来賓祝辞

経済産業省製造産業局 鉄鋼課長 山下隆一様

高い加工能力ときめ細かい流通サービスで
厳しい国際競争に打ち勝ってほしい



会長からは世界経済についてのお話
がありましたので、私からは政権交
代後の動きについて説明させていた

きます。新しい政権の下で緊急経済対
策が決まり、事業規模で20兆円という
補正予算案が閣議決定されました。こ
れは3つの柱で構成されており、ひと
つは復興・防災、2番目は成長による
雇用の創出、3番目が暮らしの安全、
地域の活性化というものです。具体的
な措置としては、平成25年度の予算の
組替作業が進んでいます。同時に、自
動車取得税などの税制の議論も成され
ており、24日には税制大綱としてまと
まる予定です。さらに、経済再生諮問
会議を復活させて、その下に産業競争
力会議を設けて政策をつくっています。
これから議論を進めて、おそらく
夏前に成長戦略を打ち出していくこと
になるはずで

そうした中、私の上司である菅原
製造局長が「特殊鋼は国家としても非
常に重要な産業で競争力がある」と申
し上げました。しかし、諸外国、特に
アジア勢のキャッチアップも非常に強
いものがあり、どんどん競争が厳しく
なっています。これに打ち勝っていく
ことが非常に重要で、流通の皆様も高
い加工能力ときめ細かいサービスで、
特殊鋼産業を支えてください。

われわれも、成長戦略づくりの過程
において、産業界の皆様の意見を広く
反映したいと思っておりますので、こ
こにお集まりの皆様方からいろいろな
意見・情報をいただき、それを国家戦
略につなげていくという役割を果たし
たいと思っています。



乾杯ご発声

山陽特殊製鋼(株) 代表取締役社長 武田安夫 様

景気と電気、2つの“気”が懸念材料 みんなの“気合い”でよい年にしよう



2つの“気”について、ご説明させていただきます。ひとつ目は景気の“気”です。昨年8月ごろから大変悪い状況になりました。社内でも「また悪くなりました、また悪くなりました」の連続でした。そのたびに、「これだけ悪い材料が出尽くしたので、きっとよくなります」という

言葉を何度も聞きましたが、少しもよくならないで年末を迎えました。実際、大変悪い状況で、特殊鋼の生産量も対前年比20%ダウンで年末を迎える結果となりました。また、多くの企業で生産調整を行い、雇用調整金の申請等に追い込まれた企業も非常に多かったのではないかと認識しています。

ただ、年末に政権交代があり、雰囲気が変わりました。アベノミクスで財政出動、金融緩和、構造改革という“3つの矢”が放たれようとしています。景気の気は気持ちの気です。そういう意味では、気持ちだけは非常によくなっている、大いに期待します。「冬来たりなば春遠からじ」といいます。早い時期に転換点が来ることを期待してやみ

ません。

2つ目は非常に悩ましい、電気料金の“気”です。ご存じの通り、電力各社は大変大きな料金値上げを申請しています。われわれ産業界は大変厳しい国際競争を戦っているわけですが、さらに電力料金の値上げということになれば、まさに死活問題。とても容認することはできません。ただ、残念ながら世間一般には、この事情がご理解されていないのではないかと危惧しています。そういう意味では、ここにお集まりの皆様にもあらゆるところで声を上げていただきたいと思えます。

お願いばかりになりましたが、皆様の“気合い”で、今年はいよい年にしていましましょう。

中締めあいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 東京支部長 湊義明

それぞれが今やるべきことをしっかり実行し 経済再生政策の効果に期待を寄せよう



今年は年初から株価も上がり、円安も進行し、こうして皆様のお顔を拝見しておりますと、“遠い空の彼方に明るい陽射しが見えるな”と勇気づけられます。しかし、経済再生とって政策はいろいろ打ち出されているものの、それが実行されているわけでもございませんし、成果が出ているわけでもございません。まだまだ、景気の“気”の段階です。私としても、これから政策の成

果が出てくればいいな、と思っておりますが、期待だけではダメです。われわれも、それぞれの会社でいまやるべきこと、できることを確実に実行していくことが肝要と思っております。今年は巳年ということで、株の世界では辰巳天井といわれておりますが、昨年の辰はちょっと元気がありませんでした。その分、今年は天井を突き抜けるくらいの飛躍の年になれば願っています。



各支部でも新年賀詞交換会

東京支部

開催日時：平成25年1月22日(火)
開催場所：グランドヒル市ヶ谷
(社)全日本特殊鋼流通協会との合同開催

大阪支部

開催日時：平成25年1月7日(月)
開催場所：リーガロイヤルホテル
出席者：約750名
[大阪ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部大阪支部との三団体共催]

冒頭で、三団体を代表して福原実晴支部長(南海鋼材・代表取締役社長)が、円高やユーロ不安、中国問題などを要因とした特殊鋼不況に厳しさをにじませつつも「一時的かも知れないが円安・株高基調にあり、震災復興の本格化で停滞続く建機も動きだしそう。特殊鋼需要は3月を底に回復基調になると期待する。足元は大変厳しいが、三団体が力を合わせ、世界トップレベルの日本のモノづくりを支える特殊鋼の活躍の場を広げていこう」とあいさつ。

乾杯のご発声は、今井隆・大阪ステンレス流通協会理事長(大和特殊鋼・代表取締役社長)。今井理事長は、「円安、株高、復興需要の流れの中で、ここ数年非常に苦しいステンレス業界もいい年になると確信している。5～6月、三団体の総会の季節には景気のいい話が飛び交い、皆様の顔も明るく輝いていることを祈念します」とあいさつして乾杯しました。その後、盛会のうちに例年通り流れ解散でお開きとなりました。



▲毎年恒例、君が代斉唱で賀詞交換会が始められた



▲あいさつする福原支部長



▲あいさつされる今井理事長

名古屋支部

開催日時：平成25年1月8日(火)
開催場所：名古屋観光ホテル
出席者：約420名
[名古屋ステンレス流通協会、特殊鋼倶楽部名古屋支部との三団体共催]

冒頭、あいさつに立たれた山中敏幸・特殊鋼倶楽部名古屋支部長(愛知製鋼・取締役)は「昨年は、海外材の導入や円高等で特殊鋼にとって厳しい状況だった。巳年は過去にも世界的な大事件が多い年だが、何も起こらない事を期待するのみでなく、多少のことに動じないよう常日頃から備えるようにしなければ。蛇は十二支の中で唯一冬眠する。われわれは長い間、冬眠をしてきた。そろそろ眠りから覚めて大きく飛躍しましょう」と新年の抱負を述べられました。

その後、ご来賓の岩田則子・中部経済産業局産業部製造産業課長が「特殊鋼・ステンレスはモノづくりの中心である中部地域はもとより、全国的に産業競争力の源となっている。経産省も新政権の下、経済再生に全力で取り組みたい」とあいさつされ、堀場昌治・名古屋ステンレス流通協会理事長(リントツ・代表取締役)の「耐えるべきは耐え、守るべきは守り、経営者としてあらゆる努力をし、よい成果を出しましょう」とのご発声で乾杯。

和やかな雰囲気の中進んだ懇談会は、樋巳芳支部長(辰巳屋興業・代表取締役)の「円高・株高で世の中の雰囲気はよくなっている。われわれ流通の役割は物事をスムーズに進捗させること。厳しい時だからこそ自分たちの仕事をしっかりとこなし、生き残りにつなごう」とのあいさつの後、三本締めで散会となりました。



▲あいさつされる山中支部長



▲中締めで登壇した樋巳支部長

東北支部

開催日時：平成25年1月24日(木)
開催場所：仙台国際ホテル
出席者：62名

冒頭で森高臣支部長(関東鋼鉄・代表取締役)が「昨年はエネルギーの供給不安や超円高などのいわゆる『六重苦』が解消されず非常に不利な競争を強いられました。こうした中で『技術、商品の開発』、『コスト競争力の追求』など自らやるべきことはしっかりと実行し、その上で『電力』『為替』『世界との経済連携』『税制』の四つの課題を新内閣に期待したい。また全特協においては4月から正式に一般社団法人に移行し新たなスタートを切る年であり、東北支部としても気持ちを新たに前へと進みたい」と新年のあいさつをした後、佐々木正二・大同特殊鋼工具鋼営業部東京営業室長の乾杯で和やかに会は進み、渡辺勉・ボーラー・ウッデホルム東日本営業部長の中締めで盛会のうちに散会となりました。



▲あいさつをする森支部長



北関東支部

開催日時：平成25年2月3日(日)
開催場所：伊香保温泉「ホテル木暮」
出席者：19名

冒頭、長谷川弘和支部長(長谷川ハガネ・代表取締役)が「12月26日に発足した安倍政権は「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を閣議決定し、東日本大震災の復興加速、防災や災害対策の推進、民間投資や研究開発の支援、中小企業や小規模事業者への金融支援等の対策を打ち出しています。また、円高解消が進み1ドル92円台となっておりますが、円安による輸入価格の上昇は、鉄鋼業界にとって鋼材の値上げの要因となる一面もあります。期待感が先行して実態が見えづらい状況だと思いますが、景気回復の方向に向かうことは期待したいと思います」と力強く年頭あいさつを述べました。佐々木正二氏(大同特殊鋼・工具鋼営業部東京営業室室長)の市況説明の後、懇親会へと移り、伊藤龍也本部業務部長の乾杯で和やかに会は進み、鈴木至典副支部長(鈴木機械・代表取締役)の中締めで盛会のうちに散会となりました。



▲あいさつする長谷川支部長



静岡支部

開催日時：平成25年2月21日(木)
開催場所：静岡グランドホテル中島屋
出席者：18名

冒頭で原博康支部長(東泉鋼機・代表取締役)が新年のあいさつをし「支部活動として、現在特殊鋼販売技士1級講座・構造用鋼コースと工具鋼コースを実施中であり、来年度も3級の講座よりスタートする予定である」ことを説明し、「4月1日より一般社団法人への移行」を報告しました。西尾英俊氏(大同DMソリューション・静岡営業グループ長)が3社合併による新社名を、永田鉄次氏(ネオスチール・取締役相談役)が金明鋼材からの社名変更を説明されました。伊藤龍也本部業務部長の乾杯で和やかに会は進み、三上忠明副支部長(ノボル鋼鉄・専務取締役静岡支店長)の中締めで盛会のうちに散会となりました。



▲あいさつする原支部長



九州支部

開催日時：平成25年1月8日(火)
開催場所：ANAクラウンプラザホテル福岡
出席者：195名
[九州ステンレス流通協会との共催]

谷村泰央氏(白鷺特殊鋼・九州支店支店長)による「昨年は、中国の減速・欧州危機等厳しい年でしたが、今年はメーカー・流通が協力して元気を出して行きましょう」との代表あいさつの後、横井宏幸氏(愛知製鋼大阪支店支店長)の「巳年の巳には、終結し再出発という意味があり皆様で頑張るって良い年になるように」との発声で乾杯。終始、和やかに懇談が行われました。



▲あいさつされる谷村支店長





東日本大震災・復興支援企画

被災地と被災企業の今

全特協でも多くの会員企業が被災されました東日本大震災。本誌でも、業界として支援の気持ちを共有するため、これまで4回にわたって被災企業の復旧への取り組みをレポートしてきました。震災から2年が経過しましたが、被災地の復興は、いまだ道半ばです。本連載は今号でいったん一区切りといたしますが、今後も引き続き被災地復興に注視しながら、業界の仲間としての貢献を考えていきたいと思えます。最終回は昨年6月に東北支部の新支部長に就任された森高臣氏にお話をうかがいました。



森高臣代表取締役

第5回(最終回) 関東鋼鉄株式会社 いわき営業所(福島県いわき市小名浜)

震災直後の出火で主要設備を失ったいわき営業所

東日本大震災による関東鋼鉄の各拠点の被災状況は以下のとおり。まず、震度6弱の揺れに見舞われた水戸本社は、社屋各所の壁面が一部崩落、震災直後から6日間停電となったことから倉庫等のシャッターが閉まらず、森支部長自ら会社の前に停めた車の中で寝泊まりして、警備にあたるという状況だった。機械類の生産設備には大きな被害なし。

一方、いわき営業所は揺れや津波による被害は免れたが、福島第一原子力発電所の事故による混乱から、一時的に全員避難という対応をとった。そして、震災直後の3月12日深夜3時ごろに漏電によるものと思われる原因から出火。工場内の主要設備をほぼ損傷する被害をこうむった。

「放射能災害による混乱の中、そこまで対応ができなかったのでしょうか。全員待避の際に、ブレーカーを切り忘れたようです。それが出火の原因となった」と、森支部長は当時を振り返る。各拠点とも人的被害がなかったのは幸いだったが、いわきに関しては放射能汚染の風評から避難先から戻らず退職した社員もいたという。

「小さなお子さんのいる方で、どうしても心配だと。こればかりは個人とご家族の判断なので仕方ありませんが、やはり残念ですね。地震だけにとどまらない複合災害としての大きさを強く感じます」

業界の絆に支えられ取り組めた復旧

崩落した壁面等はブルーシートで応急処置、傾いた設備機器の精度出しなどを社員とともにを行い、1週間後の通電とともに操業を再開できた水戸本社と比べ、いわき営業所の復旧には時間がかかった。

「まず、再建に際して物資がない。物資調達の見込みが立っても人がいないという状況が続き、結局、いわきの再建工事に着手できたのは震災から半年たった10月のこと。生産設備の修復も終わり、操業を始められたのは実に被災から1年後の3月になりました」と、この間の苦労を語る。

この間、多くの同業者と励まし合い、商売を超えた協力があつたが、特に思い出に残っているのが次の一件だという。

「東海鋼鉄の鴨山社長(東京支部・副支部長等)のご兄弟が経営されている、鋼材デリバリーの大剛運輸さんが震災から1週間もたたない物資不足のところに、トラック一杯のミネラルウォーターを積んで私どもの会社にも届けていただいたことです」

関東鋼鉄と大剛運輸とは直接の取引はなかったというから、このことは驚きとともに大きな感激として森支部長の心に残った。

「同じ業界の仲間として私どもにも心づかいされたんでしょうね。あの素早い対応は、時が時だけに本当にありがた

かったです」と森支部長。業界の絆を感じた瞬間だった。

若さを武器に新たな試みで躍進を目指す

政府の大胆な財政出動もあり、今後の被災地復興に期待を寄せる森支部長だが、「東北は中央から遠く、景気回復の動きも最後になる傾向がある」と気をもむ。もっとも、東北支部は前任の横山支部長(横山鋼業・代表取締役)から若返りを図っているのが強みだ。

「役員もみな若く、運営に不慣れなものがあるものの、だからこそみんなでやっというモチベーションでいます。支部長以下、役員も2年間の改選期ごとに持ち回りで担当しながら、参加しやすい雰囲気を作っていきたい」と、今後の支部運営について語る。同じタイミングで北関東支部も長谷川支部長(長谷川ハガネ店・代表取締役社長)に若返りを果たしたことから、北関東との事業共催も検討している。



平成23年12月、復旧に向けて工事中のいわき営業所

「企業訪問や講演会等、今秋をめどに何らかのイベントを共催したい。エリアを越えたまとまりで参加意義も高まれば」と熱のこもった抱負も。

その他、ベトナムとの個人的なコネクションを活かした海外視察なども検討課

題に上げていきたいという。

「東北支部は気質としてどうしても内向きなところがありますから。海外に足がかりを持つ中小中堅の同業者を見聞することで、未来志向のヒントが得られれば。任期2年の間に一人の支部長が新

しいことを考え実行できれば」

本格的な復興とともに新たな潮流を模索する東北支部。震災前以上の活気と充実を願いながら、今後も全国から東北および東日本各地の仲間たちの取り組みを応援しようではないか。

◎次号50号(7月末発行)より、グローバル事業に取り組む会員企業を紹介する「海外展開シリーズ(仮題)」をスタートします。会員の皆様には、情報提供や取材等でご協力をお願いすることもあろうかと思っておりますので、その節は何卒よろしくお願ひ申し上げます。

SC・SCM・SK 特殊鋼板・熔断加工販売

YAMA KO



ISO 14001
ISO 9001
認証取得

特殊鋼の総合加工センター



株式会社 岡谷特殊鋼センター

取締役社長 村上晋策

本社：愛知県丹羽郡大口町荻島一丁目111の1
TEL(0587)95-2315(大代表) FAX(0587)95-3596
URL:<http://www.kotc.co.jp> E-mail:murakami@kotc.co.jp

特殊鋼のノボル鋼鉄(株)

熱処理、機械加工もノボル

S50C
NAK55
NAK80
その他



全事業所でISO9001、ISO14001 認証取得

東京 03(3835)2111、静岡 054(285)0161、仙台 022(241)4131

**最先端の技術と製品を
ユーザーのみなさまに——。**

特殊鋼・高合金・新素材の販売

完成部品・加工品 特殊鋼熱処理製品
鑄鍛鋼製品
工業炉および設備 環境対応設備関連

**半導体関連装置の設計・製造・販売
気体流量計の校正業務**

(JCSS認定事業者)

FFプレートの藤巻グループ

求めるサイズで、求める時に、求める場所へ

株式会社F&Cホールディングス

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 2-18-25 丸の内KSビル 19F
TEL 052-220-5885(代) FAX 052-221-5658

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 藤巻鋼材株式会社 | <input type="checkbox"/> F-MAX株式会社 |
| <input type="checkbox"/> 藤巻工範株式会社 | <input type="checkbox"/> 藤巻鋼材大阪株式会社 |
| <input type="checkbox"/> フリーズ株式会社 | <input type="checkbox"/> プレートワークス株式会社 |
| <input type="checkbox"/> (株) スチールポリッシュ | <input type="checkbox"/> Fujimaki Steel(Thailand)Co.,Ltd. |



特殊鋼・高合金・半導体装置

株式会社 平井

<http://www.kk-hirai.co.jp>

本社：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町二丁目17番9号
TEL.03-3667-7311(大代表) FAX.03-3667-7341~4
営業所：所沢・北関東・名古屋・静岡 加工センター：所沢・北関東
システム事業部(半導体関連) システム事業部技術研究所

理事会・委員会報告

■運営委員会

○第66回運営委員会

- 日時：平成25年1月22日 15:00～16:45 於：ホテルグランドヒル市ヶ谷「翡翠の間」
- 内容：1. 平成25年度事業計画書(案)及び同年度収支予算書(案)について
2. 一般社団法人への移行準備について
3. 「緊急経済対策」「平成25年度経済産業省予算概算要求」について
4. 来年度5月開催の理事会・運営委員会の開催日について
5. 平成26年度賀詞交換会開催日について
6. その他(報告事項等)

■人材育成委員会

【特殊鋼販売技士検定試験委員会】

○1級講師事前打合せ

- 日時：平成25年1月10日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
- 内容：1. 平成24年度特殊鋼販売技士1級研修講座・講師事前打合せ
2. 特殊鋼販売技士1級検定試験の試験問題概要について
3. 構造用鋼及びステンレス鋼の追加資料について
4. その他

○第14回指導要領作成ワーキンググループ

- 日時：平成25年1月16日 14:00～17:00 於：安保ホール
- 内容：1. 第13回WGの議事録報告について
2. 2級研修講座の「指導要領」作成について
3. その他

○1級問題選定会議

- 日時：平成25年2月20日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
- 内容：1. 平成24年度特殊鋼販売技士1級研修講座・問題選定について
2. 特殊鋼販売技士1級検定試験の試験問題概要について
3. その他

■調査研究委員会

○第49回調査研究委員会

- 日時：平成24年11月27日 15:00～17:40 於：鉄鋼会館
- 内容：1. 第63回(7-9月)景況アンケート調査報告
2. 第64回(10-12月)景況アンケートの設問について
3. 第11回経営環境に関するアンケートの設問について
4. 経営環境に関するアンケート10回の纏めについて
5. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)の考え方について
6. その他

■内外交流委員会

○第35回内外交流委員会

- 日時：平成24年11月29日 15:00～17:00 於：安保ホール
- 内容：1. 平成24年度事業実績及び収支実績見込について
2. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)の考え方について
3. 平成25年度の視察研修先について
4. その他

○第36回内外交流委員会

- 日時：平成25年2月6日 12:00～14:00 於：名古屋・安保ホール
- 内容：1. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
2. 平成25年度の視察研修の具体的訪問先について
3. その他

■広報委員会

○第30回広報委員会

- 日時：平成25年2月14日 15:00～17:00 於：鉄鋼会館
- 内容：1. 広報誌「すていーる49号」の記事配置等について
2. 次号(50号)の記事内容について
3. 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)について
4. その他

■青年部会

○第35回青年部会正副部会長会議

- 日時：平成25年2月5日 15:30～17:00 於：大阪・鐵鋼会館
- 内容：1. 第23回運営委員会の内容について
2. 「はがねの日」アピール用マウスパッド作成について
3. 青年部会の今後のスケジュールについて
4. その他

TA/YO STEEL MATERIALS

大洋商事株式会社
http://www.taiyoshoji.co.jp

ISO 14001 認証取得

特殊鋼 鋳造品 鍛造品 加工 組立 電子材料
ITデバイス

本社 東京都中央区新富2丁目15番5号 (RBM築地ビル)
TEL. 03-5566-5500

事業所案内

大阪支店	大阪府大阪市西区京町堀1-4-16	06-6444-8270
九州支店	福岡県北九州市八幡西区西曲里町2-1	093-644-7270
新潟営業所	新潟県新潟市北区新崎386-17	025-259-7181
名古屋営業所	愛知県岩倉市栄町2-21	0587-37-6110
浦安事務所	千葉県浦安市鉄鋼通り2-2-5	047-351-1523
長崎出張所	長崎県長崎市松が枝町3-9-101	095-832-2699
広島出張所	広島県福山市引野町5-42-17-201	084-943-2013





佐久間の
こころ

すべてはお客様のために

佐久間特殊鋼株式会社 (052)623-5551
http://www.sakuma-ss.co.jp/

ISO9001:2008 認証取得

含ニッケル鋼のスペシャリスト

まかせて良かった!の笑顔のために、価値ある鋼をお届けします。

SNCM (ニッケルクロムモリブデン鋼 (長期用)) SNCM220H SNCM220H SNCM616 SNCM815 (ニッケルクロムモリブデン鋼 (短期用)) SNCM439 SNCM447 SNCM630

SCM (クロムモリブデン鋼) SCM415H SCM420H SCM435H SCM440H SCM435H 高温用合金鋼ボルト材 SNB7 SNB16 SNB7 SNB7

SUS (ステンレス鋼) SUS304 SUS304 SUS304 SUS304 SUS304 SUS316

SNB (ニッケルクロム鋼) SNB415 SNB631 SNB815

在庫の確認・お問い合わせは、HPまたはTELにてお気軽に!

株式会社 堀田ハガネ 大阪府堺市西区築港新町3丁目19-2
TEL.072-244-0011 / FAX.072-244-0330

★ 大同の高級特殊鋼

冷間 ダイス鋼 DC53 DCMX

金型材のコンサルタント
株式会社 竹内ハガネ商行

本社 〒143-0023 東京都大田区山王2-3-10
☎03(3773)1211 <http://www.takenet.co.jp>

てんひこは「素材」×「熱処理技術」×「加工技術」のトータルプロデュースで貢献しています。

“こだわり”と“お役立ち”で
創業140周年に向けて

特殊鋼 超ステンレス鋼 (シリコイ)

技術力で 世界加工ネットワーク 拡大中

Since 1875

株式会社天産産業 (TENHIKO INDUSTRIAL CO., LTD.)
本社 〒559-0032 大阪市住之江区南港南5丁目5-26
TEL (06) 6613-2361 FAX (06) 6613-2367
<http://www.tenhiko.co.jp>
上海天添祥商貿有限公司 (中国・上海)
TEL 86-21-63812675 FAX 86-21-63812677
TENHIKO INDUSTRIAL (THAILAND) CO., LTD (タイ・バンコク)
TEL 66-2266-8348 FAX 66-2266-8349

<http://www.nomura-koki.com>

構造用鋼 工具鋼
金型加工 ステンレス鋼

あらゆるご要望に。

野村鋼機株式会社 東京都江東区亀戸5-22-13 TEL 03-3682-2131(代)

金型予熱装置

予熱くん

金型溶接補修の
予熱・後熱に最適!

金型を短時間で安全に予熱します!

焼バメもできるよ!

Nankai tool & dies
南海鋼材株式会社
<http://www.nankaikoza.co.jp>
TEL. 072-233-1525(代)

車社会のあらゆるシーンで

- ステンレス鋼、構造用合金鋼、ばね鋼、その他特殊鋼
- 自動車補修部品・カー用品
- 精密機械部品・電子機器

TMY 辰巳屋興業株式会社
<http://www.tmy-net.co.jp>

本社: 〒466-8711
名古屋市昭和区白金3丁目20番15号
TEL:052-882-8501 FAX:052-882-8852

鋼材部営業所:
名古屋・大阪・三重・東京・燕

RG RACING GEAR

良い素材が良い製品

- 高級特殊鋼・精密鑄造品
- エレクトロニクス関連部品
- 磁性材料・電子材料
- 機械加工・金型熱処理

Yom 青山特殊鋼

東京本店 東北・新潟・太田・浦安
大阪支店 東大阪・兵庫 静岡支店 浜松・相模
中部営業 名古屋・豊橋・北陸

鋼を奏する

小ロット・多品種・短納期を実現するグループカ。
井上特殊鋼は系列メーカーを駆使し、
各産業分野のニーズを的確に把握。
素材からアッセンブル商品まで
さまざまな形で提供しています。

■営業品目■
素材から型打・フリー鍛造・機械加工まで
(素材)構造用炭素鋼・構造用合金鋼・ステンレス鋼・
工具類・その他特殊鋼全般
(加工)各種鍛造・熱処理・磨削鋼・機械加工

井上特殊鋼株式会社
取締役社長 井上寿一
本社/大阪市西区新町1丁目33-8 ☎(06)6532-1531(代表)

●支店/東京・福岡●営業所/栃木・神奈川・静岡・名古屋・金沢・神戸・岡山・広島・高知・愛媛●工場/滋賀・高知・岐阜

事務局だより

1 4月1日より「一般社団法人」へ移行します。

〈100年以上の歴史からの改革〉

当協会は4月より新たに一般社団法人になります。これは、公益法人改革に関する新たな法律に基づくものです。平成20年より5年間の間に許可や認可を受けた法人になるか、任意団体もしくはNPO法人になるか、それとも解散するかなどを決めなければならないからです。当協会は一般社団法人に移行することを決め、移行認可申請を昨年10月内閣府に行いました。審査の結果、認可を受けることが決定し、4月より新法人になります。

今回の公益法人改革は、これまで110年有余にわたる民法のもとでの活動が、今後は新たな法律に基づき運営されます。

〈改革の必要性と新たな協会の責務〉

残念ながら近年の公益法人は、様々な問題を抱えていました。例えば、不公正な取引、営利活動による蓄財、過度な補助金の受け取り、そして好待遇による天下りなどです。一部の公益法人によるこのような活動が社会問題となり、今回の改革がなされました。そのため、認可を受けた当協会も法律の考えに沿った新たな責務が求められます。

今回の改革のポイントは、以下の3点です。

- ①一般社会に対し、透明かつ公平性の高い活動(経営)を心がけること
- ②内閣府などの一元的な監督のもとで活動すること
- ③活動の自主性が認められるとともに責任を負うこと

当協会は、一般社団法人としての要件を満たしている団体として認可を受けます。それと同時に、新たな法律の理念のもと社会的な責務も負わなければなりません。

2 「法律無料相談窓口」は3月31日で終了します。(経営効率化委員会)

平成17年4月1日から、飯田法律事務所と法律顧問契約を結び、会員企業の皆様を対象に「法律無料相談窓口」を開設してまいりましたが、この程平成25年3月31日をもって終了することになりました。

この間8年間で91件の相談実績がありましたが、ここ数年は本誌やホームページに利用促進を掲載するも相談件数が激減し、一定の役割が終焉したのではないかと経営効率化委員会では当窓口の閉設を決定しました。

今後は、別の形で会員の皆様へのサービスを企画してまいりたいと思います。

3 JISハンドブック及び定期刊行物購入斡旋のお知らせ

日本規格協会発行の「JISハンドブック」及び定期刊行物の購入斡旋を継続しております。是非ご利用下さい。お問い合わせは、事務局までお電話下さい。(Tel : 03-3669-5803)

編集後記

待ち遠しかった春の陽射しを感じる季節になりました。低迷している特殊鋼需要も春の陽気とともに明るくなることを期待しています。

さて「すてい〜る49号」では、各地区の「新年賀司交換会」の模様を中心にお伝えしています。昨年末の円安・株高の影響からか、足元の状況が厳しいにも拘らず会場での皆様の表情は比較的明るく期待感に溢れているように映りました。

ところで、いよいよ全特協も一般社団法人に移行します。冠が変わるだけでなく、協会運営自体も見直す良い機会だろうと思います。会員に対し充実した協会運営が大切でしょう。そのためには、法人化当初から抱えてきたいろいろな問題を直視し、健全な協会運営に変えていくことが必要です。会員の皆様に満足いただくように、この機会に原点に立ち返ることが協会の存続に意義を与えることになるのではと考えます。

広報委員会委員長・広報誌発行責任者／福原實晴